

NPO 法人まちづくり in 久米

*連絡先： 松山市鷹子町 54-3
089-975-4503 (代表者：安永耕造)

■ パッケージ&売り方



○柑橘系の評判はよい。リピーターやまとめ買いする方もいた。中には松山市や久米地区に縁のある方もいて、そういう方は今回の企画に賛同して積極的に買っていた。

○ノーワックス、低農薬、国産はPRポイントになる。

○赤米はあまりなじみがないせいか、PRや値段の工夫が必要。

○売り方については委託販売は難しい。対面販売、もしくは飲食店での買い取りがベスト。在庫管理や流通は課題。

○ディスプレイも工夫する余地あり。いかにおいしく新鮮に見せるかがポイント。試食もあり。

○駅前に車で乗り付けて柑橘類を販売している業者もいるので、イベントに限らず、あのような販売のしかたもアリかもしれない。

■ 出張販売



第6回三茶子育てファミリーフェスタ
(10/8)



二子玉川アート&マート
(10/23)



小径の収穫祭 2011
(10/30 ~ 31)



COS 下北沢での販売
(11/10 ~ 17)



わくわくわーくフェスタ
(11/26 ~ 27)



世田谷のポロ市
(12/15 ~ 16, 1/15 ~ 16)



座の市
(2/18)

事業名：

「地域の子どもを支える 農力プロジェクト」

■ 目的

- 地域特産品のマーケティングをすることにより、将来の事業開拓の可能性を探る。
- 収益金と助成金により安全マップ作成のマニュアルをつくる。

■ 事業内容

- 久米地区の特産品みかんを東京で販売し、東京市場での動向を探る。
- 合同会社橋に地図太郎をベースにした作成マニュアルの作成を依頼する。

■ 市民の参画や他団体との連携

- 地元の農家等と、契約し商品の安定的確保を図ると同時に、株式会社世田谷社に販売を委託した。
- 合同会社橋と北海道建築研究所に簡易版安全マップ作成の手引きを作成した。

■ 市民に対する PR

- 地域の特産品の価値を再確認できた。
- 簡易版安全マップ作製のマニュアルが完成した。